



令和5年度

卒業生アンケート調査結果報告書

令和5年9月6日

別府大学

2023 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 6 回目となる令和 5 年度の卒業生アンケートは 2016 年度、2018 年度、2020 年度の卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 113 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数とはなりませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要な社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

1. アンケート実施方法

2022 年度の卒業生アンケートは、2016 年度、2018 年度、2020 年度の卒業生、996 名を対象として実施した。

卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 5 年 8 月 4 日（金）～8 月 18 日（金）として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

2. 結果

総回答数 113 件を分析の対象とした。

113 件の内訳は 2016 年 9 月卒業生 2 名、2017 年 3 月卒業生 33 名、2018 年 9 月卒業生 0 名、2019 年 3 月卒業生 32 名、2020 年 9 月卒業生 2 名、2021 年 3 月卒業生 44 名であった。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表 1 に示した。

学科\年月	2016 年 9 月	2017 年 3 月	2018 年 9 月	2019 年 3 月	2020 年 9 月	2021 年 3 月
国際言語・文化学科	0	7	0	6	1	3
史学・文化財学科	1	9	0	4	0	13
人間関係学科	1	5	0	6	0	8
食物栄養学科	0	6	0	10	0	10
発酵食品学科	0	2	0	1	1	2
国際経営学科	0	4	0	5	0	8
計	2	33	0	32	2	44

表 1. 6 学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対する学科別の回答比率を集計し、図 2 に示した。学科における学びの満足度ではおおむねすべての学科で、普通まででとどまる傾向があったが、史学・文化財学科、食物栄養学科、国際経営学科においてわずかながら満足できていないとする回答が見られた。大変満足している、満足しているまでの比率では、発酵食品学科、次いで史学・文化財学科、国際言語・文化学科の順となった。

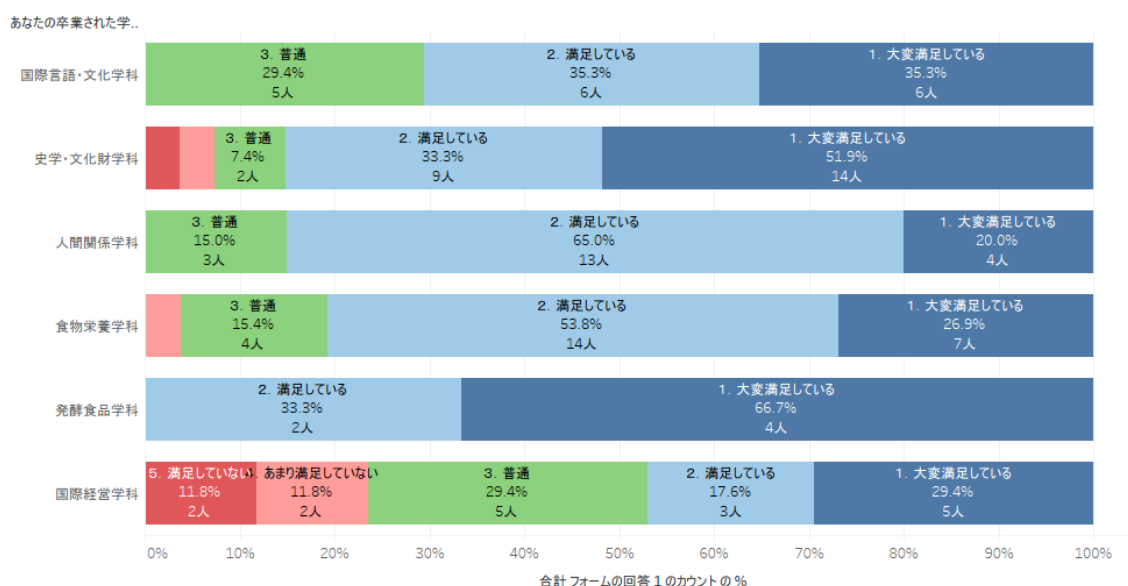


図 2. 「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」

「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、各学科で集計した結果を図3に示した。

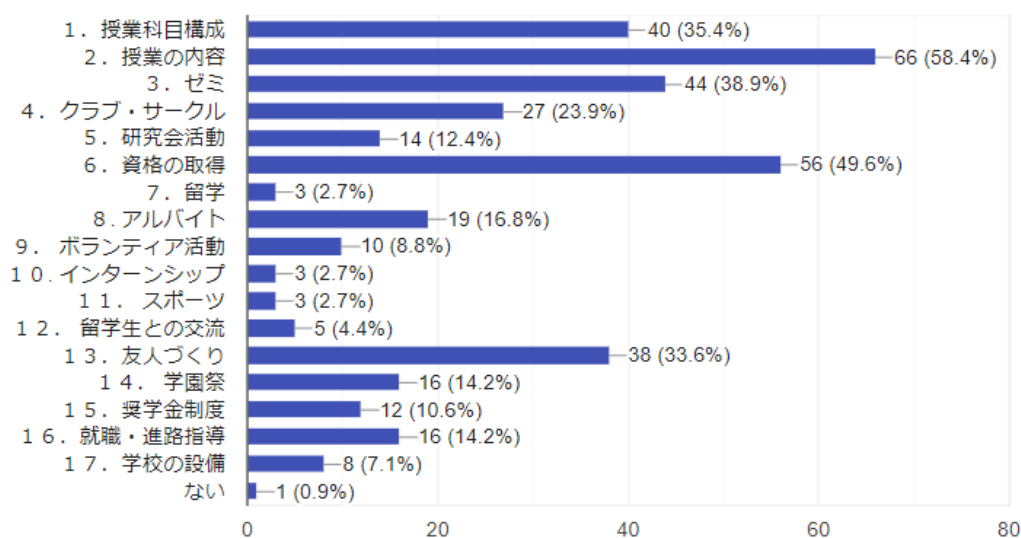


図3. 「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか（複数回答可）」の全体集計結果

卒業生の選択した別府大学で学んでよかったところとして、授業の内容が特に多くの卒業生からの選択項目となった。またそれについて、資格の取得やゼミなどが選ばれ、次には授業科目構成が選ばれた。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の問いについて、複数回答で得られた項目を、全体集計した結果を図4に示した。

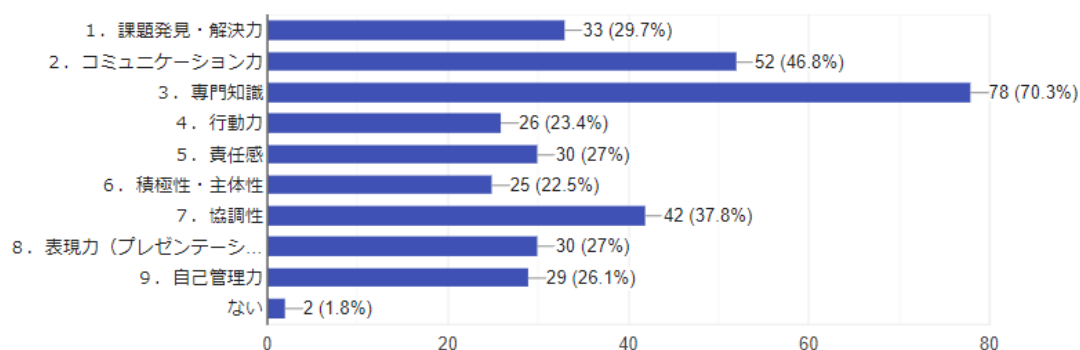


図4. 「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか（複数回答可）」の全体集計結果

卒業生の多くは大学の学びにおいて、専門知識に関する知識・能力の向上を認識しているという結果が示された。さらにコミュニケーション能力や協調性といった集団における行動様式の向上が実感されている結果となった。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか（複数回答可）」について、全体集計の結果を図5に示した。

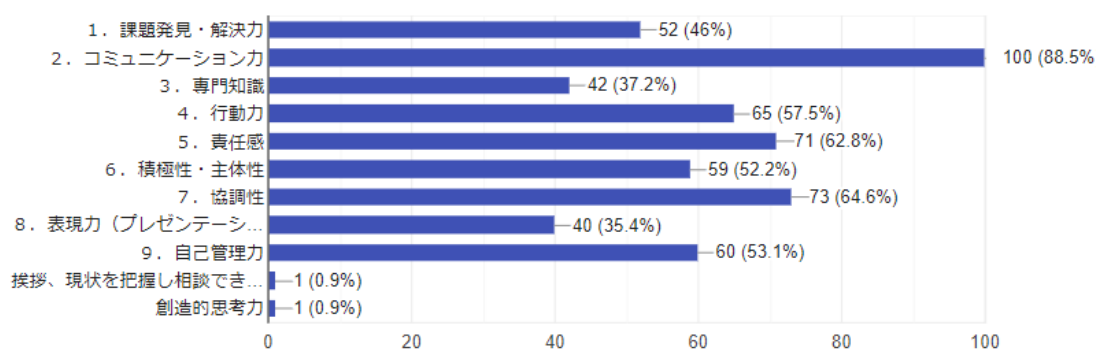


図5. 「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の全体集計結果

卒業生は就職してから社会で必要な能力として、コミュニケーション力を第1に挙げ、次いで協調性となっている。また、責任感や行動力や自己管理能力が重要と考えている。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」への回答を全体集計したものを図6に示した。

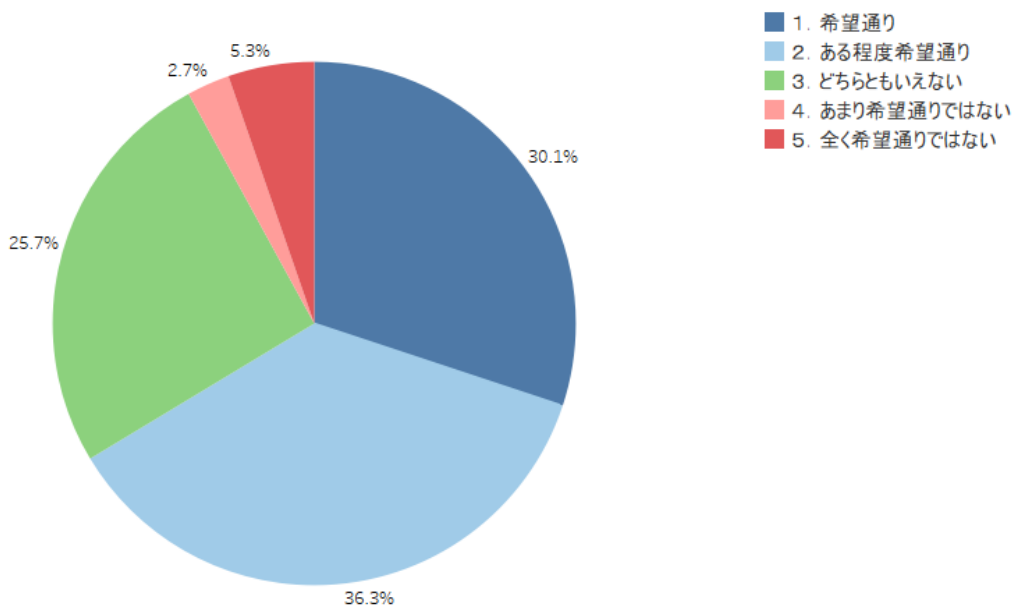
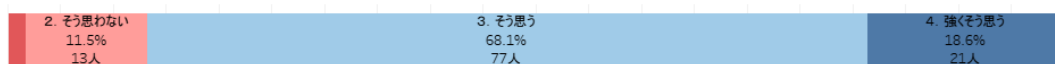


図6. 「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」の全体集計

卒業後の進路については、全体の66.4%の卒業生がある程度希望通りに進路を進めている一方、8%の卒業生で希望通りにはいかなかったとしている。

6. 大学での教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の学びについて（1）～（5）の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答（1）～（5）の集計結果を図7に示した。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



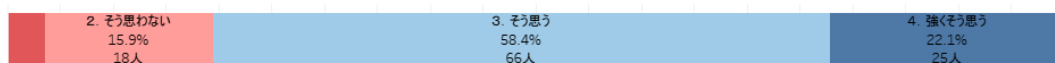
(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身につけ、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



図7. 「6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについての質問」の全体集計

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが18.6%（21人）、3. そう思うが68.1%（77人）、2. そう思わないが11.5%（13人）、1. 全く思わないが1.8%（2人）の結果となった。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが4.4%（5人）、3. そう思うが63.7%（72人）、2. そう思わないが24.8%（28人）、1. 全く思わないが7.1%（8人）の結果となった。

(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身につけ、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが8.8%（10人）、3. そう思うが75.2%（85人）、2. そう思わないが13.3%（15人）、1. 全く思わないが2.7%（3人）の結果となった。

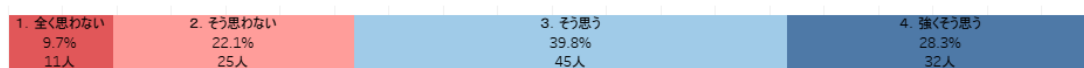
(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが22.1%（25人）、3. そう思うが58.4%（66人）、2. そう思わないが15.9%（18人）、1. 全く思わないが3.5%（4人）の結果となった。

(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされて

いると思いますか、という質問に対しては、4. 強くそう思うが 9.7% (11 人)、3. そう思うが 29.2% (33 人)、2. そう思わないが 39.8% (45 人)、1. 全く思わないが 21.2% (24 人) の結果となった。

7. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて(1)、(2)の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答(1)、(2)の集計結果を図8に示した。

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

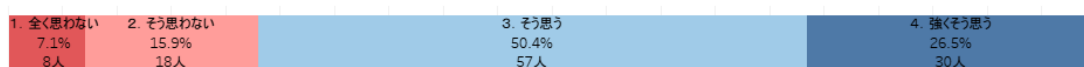


図8. 「7. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについての質問」の全体集計

(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが 28.3% (32 人)、3. そう思うが 39.8% (45 人)、2. そう思わないが 22.1% (25 人)、1. 全く思わないが 9.7% (11 人) の結果となった。

(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。という質問に対しては、4. 強くそう思うが 26.5% (30 人)、3. そう思うが 50.4% (57 人)、2. そう思わないが 15.9% (18 人)、1. 全く思わないが 7.1% (8 人) の結果となった。

8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて(1)～(5)の観点について4. 強くそう思う、3. そう思う、2. そう思わない、1. 全く思わないの4択による評価を回答願った。

汎用力の観点は、

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

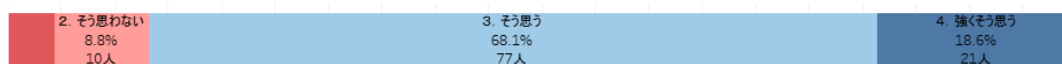
(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働力、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。として、(1)～(5)の集計結果を図9に示した。

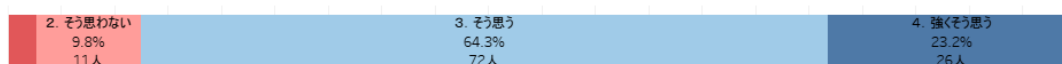
(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



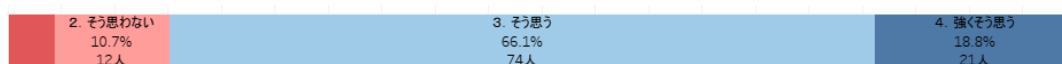
(2) 大学で身に着けた組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働性、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(4) 大学で身につけた場面にふさわしい言葉遣い・マナー・振る舞いや、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。



図9. 「8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて」の全体集計

(1) 大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)が、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強く思うが18.6%(21人)、3. そう思うが68.1%(77人)、2. そう思わないが8.8%(10人)、1. 全く思わないが4.4%(5人)の結果となった。

(2) 大学で身に着けた組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働性、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強く思うが24.1%(27人)、3. そう思うが64.3%(72人)、2. そう思わないが8%(9人)、1. 全く思わないが3.6%(4人)の結果となった。

(3) 大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4. 強く思うが23.2%(26人)、3. そう思うが64.3%(72人)、2. そう思わないが9.8%(11人)、1. 全く思わないが2.7%(3人)の結果となった。

(4) 大学で身に着けた場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとと

もに、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4.強くそう思うが18.8% (21人)、3.そう思うが66.1% (74人)、2.そう思わないが10.7% (12人)、1.全く思わないが4.5% (5人) の結果となった。

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。については4.強くそう思うが12.5% (14人)、3.そう思うが58.9% (66人)、2.そう思わないが20.5% (23人)、1.全く思わないが8% (9人) の結果となった。

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活において活かされていると思いますか、については、①大いに役立ったが7.1% (8人)、②役立ったが26.8% (30人)、③普通が40.2% (45人)、④役立たなかったが15.2% (17人)、⑤大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だったが10.7% (12人) であった。(図10)

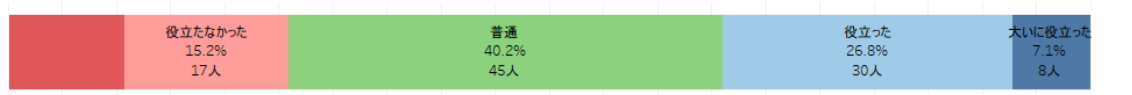


図10. 「9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていると思いますか」の回答割合

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述については資料として、各学科別に学生の成長できたと考える記載を原文のまま掲載している。

傾向として、今回の卒業生アンケートの回答した卒業生の多くは、大学生という時間の中で、それぞれに自己の変化について、文章化できる内容をもって実感できていることが理解できる。

また、自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

考 察

令和5年度のアンケートは2016、2018、2020年度の卒業生996人を対象に実施された。回答数は113件で、解答率は11%と前回と同じであるが、実数は令和2年度の175件、令和3年度の119件、令和4年度の110件と減少傾向にあり、学科ごとのDP達成度などを測るには十分な標本数にはならなかった。しかし本学学生の卒業後の意識や動向を把握する上で貴重なデータとなっている。対象者数を増やすなどの対応が今後必要である。

内訳についてはまず、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いについて、大変満足している、または満足していると回答した者の割合が高い学科は、発酵食品学科(100%)、史学・文化財学科、人間関係学科、食物栄養学科、国際言語・文化学科、国際言語・文化学科(47.1%)の順となった。あまり満足していない、満足していないが少数ながら見られる。改善のためには以下の項目から読み取ってゆく必要がある。

次に「2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったのですか(複数回答可)」の質問については、「授業の内容」に58.4%、「資格の取得」が49.6%、「ゼミ」が38.9%と多く、ついで「授業科目構成」が35.4%、「友人づくり」が33.6%、「クラブ・サークル」が23.9%の順となっている。3位以下の順番はかわっているが上位6項目は昨年と同じである。下位は「留学」「インターンシップ」「スポーツ」が同位で2.7%となっている。卒業年次から新型コロナの影響はあまりないと考えられるので別の要因を考える必要がある。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)」の質問については、「専門知識」70.3%(昨年56.5%)、「コミュニケーション力」46.8%(昨年51.9%)、「強調性」37.8%(昨年37.3%)、「課題発見・解決力」29.7%(昨年24.1%)が数値の高い順で、昨年と4位が変わっている(昨年4位は「行動力」34.3%)。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)」の質問については、「コミュニケーション力」88.5%がもっとも高く、ついで「協調性」64.6%、「責任感」62.8%、「行動力」57.5%と続く。昨年の4位「積極性・主体性」と変わっているが、おおむね傾向は同じとしてよい。とくに「コミュニケーション力」の重要性認識は群を抜いており、引き続き重視すべき教育目標となる。「専門知識」は8位の37.2%であった。これは設問7(1)と連動している。

「5. 卒業の進路は希望に沿ったものですか」の質問については、「希望通り」30.1%、「ある程度希望通り」36.3%で、合計66.4%が肯定的な回答であった。昨年度75%より低下したが、一昨年度65%と同程度である。「希望通りでない」5.3%、「あまり希望通りではない」2.7%の合計8%となるが、昨年度調査のそれぞれ3%、5%の合計8%と数値は同じであるが、内実は少し悪化している。

「6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて」の「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、強くそう思う18.6%、そう思う68.1%の合計86.7%が肯定的回答である。昨年調査の85%と同じ傾向である。

「(2) 本学の建学理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に4.4%、63.7%の合計68.1%が肯定的回答で、昨年調査60%より有意な改善が見られる。

「(3) 多角的、総合的、複合的な知識を身につけ、総合的に思考する能力を身につける

教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に 8.8%、75.2%の合計 84%が肯定的回答で、やはり昨年調査 80%より向上している。

「(4) 情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」については、同様に、22.1%、58.4%の合計 80.5%が肯定的回答で、昨年調査の 79%とほぼ同じ傾向である。

「(5) 英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に 9.7%、29.2%の合計 38.9%が肯定的で、昨年調査の 34%よりは向上している。しかし 61%が否定的な回答であることは、サンプルの偏りを考慮しても、低位であることは間違いない。

卒業生に高く評価されているのは (1) (3) (4) であり、本学の教養教育の効果があることを示唆している。向上しているとはいえ (2) 建学理念 (建学の精神) が実感される状況は、もう少し人生を踏んでからかもしれない。

「7. 専門力 (専門に関する基本的な知識、技能) の学びについて」「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、強くそう思う 28.3%、そう思う 39.8%の合計 68.1%が肯定的回答で、昨年調査の 73%よりも減退している。「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか」の質問については、同様に 26.5%、50.4%の合計 76.9%が肯定的回答で、昨年調査の 75%より微増である。減少しているとはいえ 7 (1) の肯定的数値は、4 の設問での「専門知識」の必要性の数値よりは高いので、専門以外のスキルが求められるということを示しているとも考えられよう。

「8. 汎用力 (社会で活用できる汎用性のある能力) の学びについて」(1) ~ (5) の観点で、仕事や生活にいかされているかとの質問への回答は、(1) 論理的分析能力と課題改善能力 (判断力・想像力・企画力を含む) では、強くそう思う 18.6%、そう思う 68.1%の合計 86.7%が肯定的で、昨年調査の 83%より向上を示している。(2) 主体性・強調力・傾聴力などでは、同様に 24.1%、64.3%の合計 88.4%が肯定的で、やはり昨年調査 84%より向上している。(3) 文章力と口頭での表現力は、同様に 23.2%、66.1%の合計 89.3%が肯定的で、昨年調査の 77%よりかなり有意な向上が見られる。(4) 豊かなコミュニケーション力は、同様に 18.8%、66.1%の合計 84.9%が肯定的回答で、昨年調査の 88%から少し減少したが、高位である。(5) 国際的関心や情報収集・分析力では、同様に 12.5%、58.9%の合計 71.4%が肯定的回答で、昨年調査の 67%よりは向上したが、他に比べるとやや低めである。6 (5) 同様に、卒業生の進路傾向に関わるようにも見える。

「9. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」の質問については、大いに役立った 7.1%、役だった 26.8%の合計 33.9%が肯定的回答であった。昨年調査 33%とほぼ同じ傾向である。卒業論文等が仕事や生活に具体的に直結しにくいことが窺われる。普通 40.2%がもっとも多いこともあり、評価は慎重に考えるべきかと思われる。

6 ~ 9 の質問は本学の DP とそれを実現化させるための CP 教育課程を検証する上で重要な質問となっており、今後とも注視してゆきたい。

10 の質問については、具体的な指摘や示唆に富んでおり、各学科等においても参考に今後での改善に大いに役立ててゆきたいものである。

資料

「10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）」

※自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

【国際言語・文化学科】

- ・協調性、諦めずに取り組む力。
- ・教職でのグループ発表や、研究授業
- ・サークル活動で身につけたリーダーシップとゼミで身につけた協調性、責任感です。ゼミではオープンキャンパスにも参加させていただき、代表として発言させていただくことの重大さや、他の友人と切磋琢磨しながら論文を書くことの大変さを感じました。
- ・資格検定試験に合格した時
- ・卒論等で一次出典の重要性を理解したことと、一人暮らしにより基本的な生活能力を獲得したこと
- ・芸術系のコースだったのですが、ゼミとの共同プロジェクトに向けて、アイデアを考案し、提案、実行、実現というステップを経験できた。クリエイティブの制作経験だけでなく、担当の先生との連絡や、スケジュールリング経験などが仕事に役立っている。
- ・細かい分析力とそれをどう活かすかという応用力は専門的な分野のみならず、日常的なコミュニケーションでも活かしていると思います
- ・様々な人とのコミュニケーション能力はサークルを通して身についた。
- ・教育実習と外国語の授業、留学
- ・サークルを通して自主的に文化祭などに参加した
- ・サークルの部長を務めた事により、人をまとめる立場に立つことを経験できました。

【史学・文化財学科】

- ・自身で目標を決定し、達成するための進捗管理をしっかりと出来るようになった。
- ・人前で話せるようになった
- ・模擬授業の会は有り難かったです！
- ・中国に留学したこと
- ・専門知識の向上
- ・考える力を身につけた
- ・思考力・発見力
- ・私は教職課程を取っていた。履修し始めの教育法の授業では、10分弱の授業を行うのもやっとだった。しかし、4年時の教育法では、比較的スラスラと進めることができた。
- ・卒業論文をある程度満足のいく形におさめることができた
- ・教育実習
- ・別府市アウトリーチ活動に参加させていただき、教員として働く現在とてもこの経験が生かされてきます。

【人間関係学科】

- ・固定観念外の視野の幅が広がった。社会的人間的な失敗や成功経験をたくさんしたこと
で今何がベストかを判断しやすくなった。人間関係を築く上での大変さや脆さ、繋がり
の有り難さを体感することが出来た。
- ・心理学を専門的に学び、多角的な視点を得られたことは社会人として生活していく中
でも、様々な人がいるという多様性への理解を得られていたと思う。また、そうした人への
先入観が学んでない人に比べると持たずに接することができるように思う。
- ・同学科以外にもサークル活動やアルバイトに参加することで、多くの人と交流しコミュ
ニケーション能力や協調性を高めることに繋がったことは良い経験であった。
- ・自己肯定感
- ・自分のメンタルや体力の限界を理解する
- ・一人暮らしによる自活力が身についたこと。今まで接したことのないタイプの人とも接す
る機会があり、コミュニケーション能力がついたこと。現在まで一緒に遊んだり、悩みを
相談できる友達や先輩・後輩が沢山できたこと。
- ・自分で科目を選択し進路を決めて行くことが、今の進路につながった。
- ・教育実習です。
- ・大学に入る前後人として成長できた
- ・人前での発表が苦手だが、グループワークをする機会が多く、自分の意見等を発表する力
が付いたと思います。
- ・失恋
- ・自分や問題を客観的に見ることができるようになったこと
- ・サークルで会計をしたこと

【食物栄養学科】

- ・勉強継続する力を身につけることができた。専用分野への勉強は特に力を入れていた
だけ、勉強時間の確保が十分にできた。また、授業外でも教授とコミュニケーションが取れ
る時間はとても大切だった。質問とは異なるが、同期と国家試験を乗り越えたことで、今
でも仕事についてお互いに相談できる良い環境である。”
- ・一人暮らしをすることで自立していくとともに、両親や周りの人たちに感謝をする気持ち
が芽生えた。また、授業の他にアルバイトやサークル活動やゼミなどは、社会人になって
からも活かせるような経験がたくさんできた。特に、十人十色たくさんの方がいる中での
生活はコミュニケーション能力が養われた。
- ・友人たちと1つの目標に向かって切磋琢磨し、ゴールにたどりつく力がついた。諦めずに
ギリギリまで粘ることをがんばれた。
- ・ボランティア活動
- ・専門的な知識を身につけることができたり、周りの人と協力したりすること。
- ・卒論
- ・管理栄養士の資格取得に向けて仲間と一緒に懸命夜遅くまで勉強して取得できたこと。
- ・大学での研究会活動や講義で身につけた「協調性」や「責任感」は現在社会に出て働いて
いる身にとっては大変役に立っていると日々感じています。特に組織で働くためには「協

調性」は必要不可欠であり、時に我慢を強いられることも多々あるが、勉強と思いながら学んでいます。別府大学で専門的な知識を身につけ、数年前にご縁があり短期ではあったが実験助手として任務をやり遂げることができたことは、私にとっては卒業生として誇りに思っております。ここで学べたことや、任務をやり遂げることができたことに、とても感謝しております。

- ・社会に出る前に、大学での活動やアルバイトを通して人との関わり方やお金の使い方等について考えることができたのは成長できた部分だと思う。

【発酵食品学科】

- ・クラウドファンディング

【国際経営学科】

- ・高校などとは違いカリキュラムを自分で組む等全て自分で行動していく自主性を身につけられたことが成長だと思います
- ・教授のゼミ活動を通して、専門的な知識を得ることができました。自然エネルギーに関して、今でも興味を持ってニュースを見ています。自然エネルギーについて難しく考えていましたが、ゼミ活動を通して身近に感じる事が出来ました。
- ・友達が増えた
- ・県内外のみならず、留学生を含めた様々な価値観を持つ人々と交流することができ、コミュニケーション能力が大きく向上したと感じています
- ・酸いも甘いも味わえて良かったです(山あり谷ありモハメドアリ)

令和5年8月4日

別府大学
卒業生各位

別府大学
学長 友永 植

卒業生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

残暑の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様をご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。

さて、本学では、卒業後社会に出られた皆様に、別府大学においての学びについて、ご意見を求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生から、本学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、本学が提供する教育プログラムを改善することを目的に実施するものです。

より多くの皆様のご回答をいただけますよう、お願いいたします。

2. 調査対象

2020年度・2018年度・2016年度卒業生

3. アンケート回答期限

令和5年8月18日（金）

4. 回答方法

URL、もしくはQRコードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、ご回答ください。

URL：<https://forms.gle/kWUVgxf9ZLwjsQ4d6>



<問合わせ>

〒874-8501

大分県別府市北石垣82

別府大学 キャリア支援課（満留）

TEL 0977-66-9623 以上

2023 年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された時期を教えてください。*

1. 2021 年 3 月卒業
2. 2020 年 9 月卒業
3. 2019 年 3 月卒業
4. 2018 年 9 月卒業
5. 2017 年 3 月卒業
6. 2016 年 9 月卒業

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。*

1. 文学部 国際言語・文化学科
2. 文学部 史学・文化財学科
3. 文学部 人間関係学科
4. 食物栄養科学部 食物栄養学科
5. 食物栄養科学部 発酵食品学科
6. 国際経営学部 国際経営学科

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

1. 大変満足している
2. 満足している
3. 普通
4. あまり満足していない
5. 満足していない

2. 別府大学で学んだどのようなところが良かったですか(複数回答可)。

1. 授業科目構成
2. 授業の内容
3. ゼミ
4. クラブ・サークル
5. 研究会活動
6. 資格の取得
7. 留学
8. アルバイト
9. ボランティア活動
10. インターンシップ

11. スポーツ
12. 留学生との交流
13. 友人づくり
14. 学園祭
15. 奨学金制度
16. 就職・進路指導
17. 学校の設備

その他:

3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感
6. 積極性・主体性
7. 協調性
8. 表現力(プレゼンテーション力)
9. 自己管理能力

その他:

4. 就職してから社会人として必要と思われる能力はどのようなことですか(複数回答可)。

1. 課題発見・解決力
2. コミュニケーション力
3. 専門知識
4. 行動力
5. 責任感
6. 積極性・主体性
7. 協調性
8. 表現力(プレゼンテーション力)
9. 自己管理能力

その他:

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1. 希望通り
2. ある程度希望通り

3. どちらともいえない
4. あまり希望通りではない
5. 全く希望通りではない

6. 大学での教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)の学びについて伺います。

(1)思考力や表現力などの基礎的素養は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2)本学の建学の理念、教育方針等の理解は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(3)多角的、総合的、複合的な知識を身に着け、総合的に思考する能力を身につける教養科目は現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(4)情報処理の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5)英語などの外国語の基本的なリテラシーは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

7. 専門(専門に関する基本的な知識、技能)の学びについて伺います。

(1)専門分野の基本的な知識や技術は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2)専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解することは、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

8. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)の学びについて伺います。

(1)大学で身に着けた論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力(判断力、創造力、企画力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(2)大学で身に着けた組織での活動におけるリーダーシップや、他者と協調しながら目標を達成する力(主体性、協働力、傾聴力などを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(3)大学で身に着けた自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(4) 大学で身につけた場面にふさわしい言葉遣い・マナー・振る舞いや、豊かなコミュニケーション力は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

(5) 大学で身に着けた我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)は、現在の仕事や生活において活かされていると思いますか。

1. 全く思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

9. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

大いに役立った

役立った

普通

役立たなかった

大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

10. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

回答を入力

卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。